



Title	Gallia 63号 報告
Author(s)	
Citation	Gallia. 2024, 63, p. 184-186
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/95769
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

報 告

講義題目 (2023 年度)

- 山上 浩嗣 教授 (講) パスカル『パンセ』入門 (春・夏学期) (共通)
 (演) デイドロ『サロン』講読 (共通)
 (講) フランス文学のなかの哲学 (共通)
 (演) モンテーニュ『エッセー』／パスカル『パンセ』講読(共通)
- Éric Avocat 特任准教授 (講) Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines (共通)
 (演) Lire les images pour découvrir la culture française (peinture, photographie, cinéma) (共通)
 (講) Étude d'une œuvre littéraire : Choderlos de Laclos, *Les liaisons dangereuses* (1782) - Le roman épistolaire au banc d'essai de ses adaptations cinématographiques (春・夏学期) (大学院)
 (演) Préparation des examens de langue française DELF-DALF (春・夏学期) (共通)
 (講) Études de textes littéraires : les classiques de la poésie française (19e-20e siècles), rafraîchis par les chanteurs dans le vent (1950-1970) (秋・冬学期) (大学院)
 (演) Exercices pratiques et créatifs en langue française (秋・冬学期) (共通)
- 平光 文乃 准教授 (演)「部屋」と室内装飾から読み解くフランス文学(19～20世紀) (共通)
 (演) プルースト『失われた時を求めて』における自動車旅行の場面を読む (共通)
 (演) プルーストの手書き草稿(カイエ 50)を読む (共通)
- 林 千宏 准教授 (講) フランス・ルネサンス詩研究—恋愛抒情詩を中心に— (秋・冬学期) (共通)

卒業論文 (2022 年度)

- ・アンドレ・ジッド『女の学校』『ロベール』『ジュヌヴィエーヴ または 未完の告白』のエヴリーヌに関するマルシャンの役割

佐 伯 寧 彦

- ・パトリック・モディアノ『新婚旅行』における庇護者の希求

瀬 川 七 海

- ・ユイスマンス『さかしま』における室内の展示を巡る思想

田 代 航 大

- ・ジャン＝ジャック・ルソーにおける文学と政治

山 口 昂太郎

修士論文（2022年度）

- ・ Le corps écran et obstacle dans *L'Insoutenable Légèreté de l'être*

菅 野 梨 夏

- ・ Représentations de la mort dans *L'Écume des jours* de Boris Vian

丸 山 智 大

- ・ L'interprétation des manuscrits fragmentaires des *Pensées* de Pascal

三 原 大 輝

日本フランス語フランス文学会研究発表

2023年5月27日（土）・5月28日（日）（全国春季大会、慶應義塾大学）

- ・ スイス・ロマンド文学へのまなざし
（ワークショップ企画）

篠 原 学

2023年10月28日（土）・10月29日（日）（全国秋季大会、九州大学）

- ・ アンドレ・マルローの現在性—論集刊行とその後—
（ワークショップ企画）

上江洲 律 子

- ・ 1860年5月『同時代評論』詩群にみられる後期ボードレールの「コレスポンダンス」の深化

小 倉 康 寛

- ・ レ枢機卿『フィエスク伯ジャン＝ルイの陰謀』における理想的人物像—コルネイユ、マキャヴェリとの比較から

涌 井 萌 子

2023 年 12 月 2 日（土）（関西支部大会、京都産業大学）

- ・ドーノワ夫人の *La Biche au bois* におけるデジレ姫の人物像—フェスロンの女子教育論の観点からみる—

中 島 姫 奈

- ・デジタルヒューマニティーズとマザリナード—「レ枢機卿のマザリナード」の計量的分析による帰属検証—

涌 井 萌 子

大阪大学フランス語フランス文学会研究発表

第 91 回研究会 2023 年 9 月 30 日（土）（於大阪大学文学部中庭会議室）

- ・パスカル『パンセ』における断片的文書の草稿読解

三 原 大 輝

司会：山 上 浩 嗣

- ・ユイスマンスの印象派批評におけるプルジョワ批判と周縁擁護

安 達 孝 信

司会：高 岡 尚 子

- ・バルザックと共感（sympathie）—『人間喜劇』以前のテキストを中心に—

岩 村 和 泉

司会：高 岡 尚 子

第 92 回研究会 2024 年 3 月 2 日（土）（於大阪大学文学部 2 階大会議室）

- ・今見ているものとは別のものを見る—パスカルにおける視覚

川 上 紘 史

司会：山 上 浩 嗣

- ・F. モーリヤック—「匂い」について

佐 藤 久仁子

司会：平 光 文 乃

- ・フランス語学と一般言語学

三 藤 博

司会：井 元 秀 剛